

財団法人尾瀬保護財団平成14年度事業報告について

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

概要

尾瀬の優れた自然環境を保全し適正な利用を図るため、入山者指導等の事業を実施するとともに受託事業として植生復元事業、ビジターセンター等利用施設の維持管理事業及び国立公園利用適正化推進事業を実施した。

また、尾瀬賞の実施、尾瀬ボランティア活動の充実強化、尾瀬通信の発行やインターネットによるホームページを活用した情報提供を行ったほか、新たに至仏山保全緊急対策会議の設置や尾瀬自然解説ガイド事業を立ち上げるなど財団の活動について広く理解を求めるとともに尾瀬の保護と適正利用の啓発を図った。

理事会等諸会議の開催

財団の適正な運営を図るため、理事会及び評議員会を開催した。また、財団の運営や諸施策について検討を行うため企画運営委員会を開催し、意見交換等を行った。

1 理事会の開催

(1) 第15回理事会

- ・日 時 平成14年6月14日(金)午後1時30分～午後3時02分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成13年度事業報告について
- 2 平成13年度決算について
- 3 財団法人尾瀬保護財団情報公開要綱の制定について
- 4 常務理事の選任について
- 5 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
- 6 基本財産への繰り入れ及び運用について

報告事項

- 1 尾瀬サミット2002の開催概要について
- 2 第6回尾瀬賞の募集について
- 3 至仏山保全緊急対策会議の設置について
- 4 企画運営委員会の開催状況について
- 6 第14回評議員会の概要について

(2) 第16回理事会

- ・日 時 平成15年3月27日(木)午後2時30分～午後4時21分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成14年度事業計画の変更について
- 2 平成14年度収支予算の変更について
- 3 平成15年度事業計画について
- 4 平成15年度収支予算について
- 5 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
- 6 副理事長の選任について
- 7 理事長、副理事長及び常務理事の選任について
- 8 財団法人尾瀬保護財団個人情報保護規程の制定について

報告事項

- 1 至仏山保全対策基本方針について
- 2 第6回尾瀬賞受賞者について

3 第15回評議員会の概要について

2 評議員会の開催

(1) 第15回評議員会

- ・日 時 平成14年6月14日(金)午前10時30分～午前11時58分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成13年度事業報告について
- 2 平成13年度決算について
- 3 財団法人尾瀬保護財団情報公開要綱の制定について
- 4 理事の辞任に伴う後任理事の選任について

報告事項

- 1 尾瀬サミット2002の開催概要について
- 2 第6回尾瀬賞の募集について
- 1 至仏山保全緊急対策会議の設置について
- 3 企画運営委員会の開催状況について
- 4 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
- 5 第14回理事会の概要について

(2) 第16回評議員会

- ・日 時 平成15年3月27日(木)午前10時30分～午後11時51分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成14年度事業計画の変更について
- 2 平成14年度収支予算の変更について
- 3 平成15年度事業計画について
- 4 平成15年度収支予算について
- 5 役員の辞任に伴う後任役員の選任について
- 6 役員の任期満了に伴う改選について
- 7 財団法人尾瀬保護財団個人情報保護規程の制定について

報告事項

- 1 至仏山保全対策基本方針について
- 2 第6回尾瀬賞受賞者について
- 3 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
- 4 第15回理事会の概要について

3 企画運営委員会の開催

(1) 第3回企画運営委員会

- ・日 時 平成14年6月3日(月)午後1時30分～
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)408会議室
- ・議 事

審議事項

- 1 自然公園法の改正について
- 2 尾瀬保護財団の現状と課題について

報告事項

- 1 至仏山保全緊急対策会議について
- 2 携帯電話基地局の設置について
- 3 長蔵小屋廃材不法投棄について

(2) 第4回企画運営委員会

- ・日 時 平成15年3月11日(火)午後2時00分～

・会 場 都道府県会館（東京都千代田区平河町）408会議室

・議 事

審議事項

- 1 平成15年度予算の概要について
 - ・尾瀬ガイドネットワークについて
 - ・尾瀬地域関係者連絡会議について
 - ・至仏山保全対策基本方針について
- 2 尾瀬における利用調整地区について
 - ・自然公園法の改正について
 - ・利用調整地区の設置について
 - ・尾瀬地域公園計画再検討について

事業実績

1 利用者指導事業

(1) 入山者指導事業

尾瀬への入山口における指導

尾瀬の入山口（鳩待峠口・沼山峠口・大清水口）において入山者への指導（案内・啓発など）を尾瀬ボランティアの協力を得て実施した。また、関係企業の協力や尾瀬山小屋組合と連携してごみの持ち帰り運動を実施するなど尾瀬の環境美化や利用者マナーの啓発に努めた。

また、軽装者の事故を防止するため、引き続き鳩待峠口で貸し靴（登山靴）事業を試行的に実施した。

尾瀬ガイダンスの実施

環境省や尾瀬山小屋組合と連携して尾瀬ツアーを計画している旅行会社や尾瀬関係書籍の出版社等を対象に尾瀬の現状と適切な利用方法を説明し、ツアー募集パンフレットや尾瀬に関する書籍の発行等に際して、利用者へのマナー啓発や利用の分散化への協力を呼びかけた。

東 京地区	平成15年	1月30日	都道府県会館	参加25社42名
大 阪地区	平成15年	2月 6日	大阪駅前第3ビル会議室	参加17社27名
名古屋地区	平成15年	2月 7日	中日ビル第3会議室	参加 9社13名

尾瀬ボランティアの活動支援

尾瀬ボランティア（平成14年4月1日現在登録者数：520名）により入山口指導、美化清掃活動、移入植物除去作業及び植生復元作業等を実施するとともにひと味違った尾瀬の楽しみ方を知ってもらいながら自然や環境保全への関心を高めてもらうためのインタープリテーション活動などを実施した。

平成14年度の活動内容は次のとおりである。

ア 鳩待峠、沼山峠等における入山者指導

尾瀬でのマナーや現地状況の説明、入山口での靴底の種子落としの指導、団体ツアー客向けマナー指導、軽装者への注意喚起、尾瀬地域の美化清掃活動

平成14年度尾瀬ボランティアによる入山者指導活動状況

	5/25 ~ 6/30	7/1 ~ 8/11	9/21 ~ 10/13	計
鳩待峠	82人	66人	62人	210人
沼山峠	30人	33人	19人	82人
大清水	12人	4人	4人	20人
合 計	124人	103人	85人	312人

イ 至仏山東面登山道整備作業

- ・柵立てとロープ張り 平成14年 6月15日
- ・柵はずし等 平成14年10月15日

ウ 移入植物除去作業

- ・鳩待峠～小至仏山 平成14年 8月 5日

・三平下～沼尻 平成14年 8月 7日

エ スポット解説活動

・インタープリテーション研修（現地）

現地 平成14年6月17日～18日、同年6月23日～24日

・お話しボランティアの実施状況

	6/3 ~ 6/23	7/15 ~ 7/29	8/2 ~ 10/11	計
日数	5日間	5日間	6日間	16日間
尾瀬ヶ原地区	13人	15人	21人	49人
尾瀬沼地区	13人	7人	16人	36人
合計	26人	22人	37人	85人

オ 至仏山中腹荒廃地植生復元作業

平成14年9月18日

カ 2002ありがとう尾瀬清掃活動

平成14年9月24日、平成14年10月14日

キ その他

尾瀬での自主ボランティア活動、旅行会社パンフレットの収集、身近な地域でのボランティア活動など

尾瀬自然解説ガイド事業

尾瀬をフィールドとするガイド事業者とのネットワークの構築と尾瀬自然解説ガイド制度の創設についての検討に着手した。このうち、ネットワークの構築に向けた取り組みとして、尾瀬に携わるガイド事業者を参集して今後のネットワーク化、相互協力、ガイド利用の促進、一定レベルの知識や技術を有するガイド育成などについて、情報交換を行うため、第1回目の尾瀬ガイドネットワーク会議を開催した。

尾瀬の情報提供

尾瀬のシーズン中に月2回、NHK前橋放送局によるラジオFM放送に職員が出演し、尾瀬全般の情報と今の見所などを含めた情報を現地から生放送で聴取者に伝えた。

啓発PR事業

ア 尾瀬保護及び財団PR事業

尾瀬の保護と財団のPRを図るため、各種イベント等に参加し、会場内に「尾瀬コーナー」を設け、尾瀬における利用マナーの向上と平日利用の呼びかけ等を行った。

出展期間	イベント
平成14年 4月18日 ～ 4月22日	「群馬春の観光展」パネル展（東京・恵比寿ガーデンプレイス）
平成14年 9月27日 ～ 9月28日	新潟県環境フェスティバル（新潟・ハイブ長岡）
平成14年10月12日 ～ 10月13日	「ほのぼのの群馬観光展」パネル展（東京・恵比寿ガーデンプレイス）
平成14年10月27日	ぐんま環境フェスティバル（群馬県庁昭和庁舎）
平成14年12月 8日	ボランティアフェスティバル沼田（沼田市保健福祉センター）

このほか劇団わらび座ミュージカル講演に合わせてパネル展を4回開催している。

イ 第7回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト及び写真展の開催

NHKとの共催により尾瀬の「自然」、「動植物」、「人物」、「保護」をテーマとしたフォトコンテストを実施し、入選作品や財団パネルを展示するとともにスライドレクチャーを行い、自然保護について理解を深めた。

・応募状況 応募総数 600点、入選数 50点

・開催期間等 平成14年12月10日～12月16日 群馬・群馬県庁県民ホール
平成15年 1月14日～ 1月19日 福島・うすい百貨店郡山店
平成15年 3月12日～ 3月16日 新潟・大和デパート

ほか5会場で開催(引き続き開催中)
14年度の入場者数は累計で25,030名

ウ 「尾瀬、昔の写真展」の開催

尾瀬に対する保護思想の普及啓発や資料の収集・保全を図るため、平成8年度に公募を行った昔の尾瀬の写真を展示する「尾瀬、昔の写真展」(パート2)を開催した。

- ・平成15年 2月26日 柏崎ソフィアセンター(NHK写真展と共催)
- ~ 3月9日

ほか2会場で開催(引き続き開催中)

エ 第4回「尾瀬フォーラム」の開催

当財団の取組みを広く紹介し、尾瀬に心を寄せる方々とのふれあいを深めるため、4回目の尾瀬フォーラムを開催した。

- ・開催日 平成14年11月29日(金)
- ・開催場所 群馬・高崎シティギャラリー・コアホール
- ・講師 石井昭子氏(県立高崎北高等学校教諭)
- ・参加人員 280名

オ 公開セミナー

- ・開催日 平成14年4月21日(日)
- ・講師等 「尾瀬に育てられ」 新井幸人氏(写真家)

(2) 自然解説事業

自然解説活動の実施

尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンターに自然解説員を配置し、朝夕の自然観察会やセンター内においてスライドレクチャーなどを実施した。

また、自然解説活動の一層の充実を図るため、ハイシーズン及び平日の啓発・指導活動を実施した。

ア 尾瀬山の鼻ビジターセンターにおける自然解説活動実施状況

・自然観察会	実施回数	104回	参加人数	1,203人
・スライドショー	実施回数	63回	参加人数	2,079人
・ハイビジョン上映会	実施回数	99回	参加人数	1,232人
・団体レクチャー	実施回数	36回	参加人数	875人

イ 尾瀬沼ビジターセンターにおける自然解説活動実施状況

・自然観察会	実施回数	171回	参加人数	2,053人
・スライドショー	実施回数	83回	参加人数	4,022人
・マルチスライド上映会	毎日8回実施		参加人数	15,751人
・団体レクチャー	実施回数	22回	参加人数	1,307人

子ども用尾瀬自然環境ミニブック配布(群馬県委託事業)

尾瀬を訪れる学校、団体の事前学習や尾瀬でのレクチャーなどで活用するため、尾瀬の自然環境や環境保全のための取組みについて、子ども向けに分かりやすくまとめた「尾瀬ミニブック」を配布した。

ネイチャースクールの開催

自然の中で、自然と人との関わりを考える場として、一般の方々を対象にした第5回ネイチャースクールを実施した。

- ・テーマ 「万年雪と銀山・尾瀬探訪」(湯之谷村を中心に開催)
- ・時期 平成14年8月3日(土)~5日(月)

(3) 指導者養成事業

指導者養成

尾瀬における自然解説活動の充実や自然解説員の資質向上を図るため、「自然解説指導者研修」に職員を派遣し、自然解説指導者としての養成を行った。

利用者指導のための資料の収集

入山者指導や自然解説活動に必要な資料の収集を行った。

(4) 啓発資料作成事業

啓発パンフレットの発行

尾瀬の案内、マナー、自然解説等の啓発資料としてセルフガイドの見直しを行った。

また、尾瀬地域の交通対策のパンフレットを作成して、関係者や一般の方々に配布し、交通規制の内容について周知を図った。

入山者指導用ビデオの活用

尾瀬についての理解を深めてもらうため、平成11年度に作成した啓発用ビデオをイベント等で放映するとともに、シャトルバス運行会社等に配付し車内での活用を依頼した。

2 環境保全事業

(1) 植生復元事業

環境省、群馬県及び福島県からの受託事業として、アヤメ平・横田代、至仏山東面登山道周辺、沼尻地区及び見晴地区における裸地・荒廃した湿原の植生復元事業を実施した。

- ・至仏山東面登山道周辺の植生復元作業
- ・沼尻周辺の植生復元及び尾瀬沼周辺の立入防止柵の設置等
- ・アヤメ平・横田代植生復元作業
- ・見晴地区の植生復元及び立入防止柵の設置等

(2) 至仏山保全緊急対策会議

至仏山については、平成9年の登山道再開後も依然として植生の荒廃につながる環境破壊が見受けられることから当財団では、群馬県からの補助を受け関係機関と有識者による至仏山保全緊急対策会議を設置し、至仏山の植生保護と利用の適正化に関する基本方針を策定した。

3 施設管理事業

(1) 施設維持管理事業

ビジターセンターの管理運営

環境省から尾瀬沼ビジターセンター並びに浄化槽・汚泥処理施設等及び見晴地区諸施設の管理運営を、群馬県から尾瀬山の鼻ビジターセンターの管理運営をそれぞれ受託し実施した。

ビジターセンター運営期間 平成14年5月中旬～11月上旬

公衆トイレの維持清掃

環境省から尾瀬沼地区公衆トイレの維持清掃を、群馬県から尾瀬山ノ鼻公衆トイレ及び竜宮公衆トイレの維持清掃をそれぞれ受託し実施した。

なお、トイレの維持清掃費等の一助とするため、山ノ鼻公衆トイレ及び竜宮公衆トイレに「協力金募金箱」を設置し、利用者への協力を呼びかけた。

(2) 利用者対策事業

尾瀬沼及び尾瀬山の鼻の両ビジターセンター内に利用者のためのコース案内を掲示した。

4 調査研究事業

(1) 国立公園利用適正化推進事業

日光国立公園尾瀬地区の貴重で繊細な自然環境を将来にわたり保全していくため、平成11年度に構築した国立公園利用適正化システムの改善・充実を図り、より具体的・効果的な方策を検討するための事業を環境省から受託して実施した。

利用適正化推進事業

指導マニュアルや各種パンフレット等を作成・活用し、尾瀬の各入山口や尾瀬地域内外において利用適正化の啓発活動を実施した。また、情報発信システムの一環として、現地情報提供のためFAXサービスを実施した。

利用分散化推進事業

ア 望ましい地区収容力の検討

自然環境保全や利用適正化のための対策を検討・実施するうえで基礎となる望ましい地区の収容力を検討するため、利用者数（利用密度）と自然環境への影響や利用快適性との関係を明らかにするため、一般利用者等による景観体験評価調査や特定者による可視景観評価調査を実施した。

イ マイカー規制等の効果検証

マイカーや観光バス規制が利用の平準化にどのように貢献しているかを検証するため、入山口駐車場において利用者意識調査等を実施した。

ウ 旅行会社に対する働きかけの強化

旅行会社の添乗員を対象としたブラッシュアップ研修会を行った。

エ 非混雑日(期)への利用者誘導手法の開発

尾瀬の利用者を非混雑日(期)へ誘導するため、ハイシーズンでない平日の尾瀬において、写真撮影テクニックやマナーの向上を目指した写真撮影講習会を開催した。

自然改変状況モニタリング調査事業

至仏山東面登山道周辺における保全対策実施前～実施後に至る植生や裸地の変化の状況を把握し、これまでの登山道等保全対策の効果検証を行うための現況調査を実施した。

ごみ処理対策検討調査事業

尾瀬地域内の各施設の浄化槽から発生する汚泥の現状調査や処理方法別の発生量等の把握を行った。

野生生物安全管理方策検討調査事業

クマと共存しながら利用者の安全を確保するため、クマに関して利用者向けの注意を喚起するPRリーフレットを配布した。

5 顕彰事業

環境保全に関する学術研究等を支援するため、第5回尾瀬賞の募集と選考を行った。

- ・ 尾瀬賞選考委員会 平成14年12月16日(月)
 第6回受賞候補者選考方法について
 平成15年 1月27日(月)
 第6回受賞候補者の選考について
- ・ 尾瀬賞運営委員会 平成15年 2月12日
 第6回受賞者候補者の決定及び第7回尾瀬賞の募集について
- ・ 第6回尾瀬賞受賞者 矢部和夫氏
 札幌市立高等専門学校 助教授

6 友の会会員の募集

友の会会員の拡充を図るため、関係機関や関係団体等に入会を呼びかけるとともに、各種イベント及びインターネットのホームページを通して会員の募集を行った。会員に対して会員証を交付するとともに定期的に会報(お知らせ)を送付するなど、尾瀬に関する情報の提供を行った。また、友の会会員が開催する写真展について、財団ホームページに掲載し広く周知した。

平成12年度末現在 賛助会員11社 個人会員1,245人

平成13年度末現在 賛助会員14社 個人会員1,288人

平成14年度末現在 賛助会員17社 個人会員1,475人

7 その他の事業

(1) 尾瀬サミット

平成14年9月5日(木)～6日(金)に尾瀬山ノ鼻地区「尾瀬ロッジ」において「尾瀬サミット2002」を開催した。「21世紀の尾瀬を考える」をテーマに役員をはじめ尾瀬に関わる人々が一堂に会して話し合いが行われ、サミット初となる「21世紀の尾瀬への宣言」が出席者全員一致で採択された。

8 収益事業(特別会計)

財団の事業活動の財源を確保するため、尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンターを中心に尾瀬に関する書籍、地図及び絵はがき等の販売を行ったほか、群馬県からの委託により「ぐんま自然環境カレンダー2003」の販売を行った。